

【電気をたくさん使う】 = 【CO₂を大量に出してしまう】 ことで起きている地球温暖化。この状態が続くと2100年ごろには気温が4.8℃も上がり（2000年比）、平均海面水位は最大82cm上昇する可能性が高いと予測されています。さらに、さまざまな悪影響が私たちの生活を脅かします。

暑い日が増えて…

熱中症のリスクが高まる!?

暑さを避けたり、こまめに水分を補給するなど、熱中症対策が必要

◎環境省熱中症予防情報サイトで熱中症対策について学ぼう。



農作物に影響が出る!?

新たな技術開発や栽培方法など、農作物についての対策が必要

◎農林水産省ウェブサイトの「農業分野における地球温暖化対策について（令和3年9月作成版）」で農業への影響や適応策などを知ろう。



さまざまな悪影響



今回は「地球温暖化による影響について②」を掲載します。

問い合わせ 環境課生活環境担当

11月9日～15日 秋季全国火災予防運動 「おうち時間 家族で点検 火の始末」

火災が発生しやすい時季を迎えます。市内では、今年1月から8月までに建物火災5件、車両火災2件、その他の火災6件の計13件の火災が発生しました。尊い生命や財産の損失を防げるよう、4つの習慣と6つの対策を行いましょう。

4つの習慣

- 寝たばこは絶対にしない、させない
- ストーブの周りに燃えやすいものを置かない
- こんろを使うときは火のそばを離れない
- コンセントはほこりを清掃し、不要なプラグは抜く

6つの対策

- 火災の発生を防ぐために、ストーブやこんろ等は安全装置の付いた機器を使用する
- 火災の早期発見のために、住宅用火災警報器を定期的に点検し、10年を目安に交換する
- 火災の拡大を防ぐために、部屋を整理整頓し、寝具、衣類およびカーテンは、防災品を使用する
- 火災を小さいうちに消すために、消火器等を設置し、使い方を確認しておく
- お年寄りや体の不自由な人は、避難経路と避難方法を常に確保し、備えておく
- 防火防災訓練への参加、戸別訪問などにより、地域ぐるみの防火対策を行う



単身高齢者防火訪問

住宅火災等による高齢者の被害が増加傾向にあることから、満80歳の単身世帯を対象に実施します。

期間 11月上旬から翌年1月末まで

内容 職員が直接関係資料等を投函

気を付けて悪質販売

消防職員が住宅用火災警報器や消火器を訪問販売することはありません。消防職員の名前を利用した訪問販売等にご注意ください。

問い合わせ 埼玉西部消防局予防課飯能日高室
☎974-7221

秋季全国火災予防運動に合わせ、埼玉西部消防局と山崎製パンがコラボした「ふわふわブレッド」が発売されます。

問い合わせ

埼玉西部消防局警防部予防課
☎04-2929-9121

